

さいたま市立病院施設整備 実施設計（概要版）



設計デザインコンセプト

■外観デザインコンセプト

高機能医療施設としての先進性や地域完結型医療の拠点としての格調を有するとともに、緑豊かで閑静な周辺環境に調和する端正なデザインとし、地域の中核病院として高度急性期医療を担い、「安心して暮らせるさいたま市のシンボル」となる新病院を計画します。

■インテリアデザインコンセプト

心理的な不安感を持って来院する患者や家族の心情に配慮し、あたたかく迎え入れる包容力を持った空間デザイン・色彩計画とします。また、ベースカラーとアクセントカラーのコントラストによりメリハリのある色彩計画とします。

建築概要

- 建設場所：埼玉県さいたま市緑区大字三室2460番地
- 敷地面積：48,789.18㎡
- 建築面積：9,540.77㎡
- 延べ面積：53,605.36㎡
- 階数：病院本館 地上10階
別館 地上3階
- 建物高さ：最高高さ 44.85 m（病院本館）
- 構造：病院本館 鉄骨梁+コンクリート充填鋼管構造（S+CFT造）
一部鉄骨鉄筋コンクリート造（SRC造）/免震構造
別館 鉄筋コンクリート造（RC造）/耐震構造

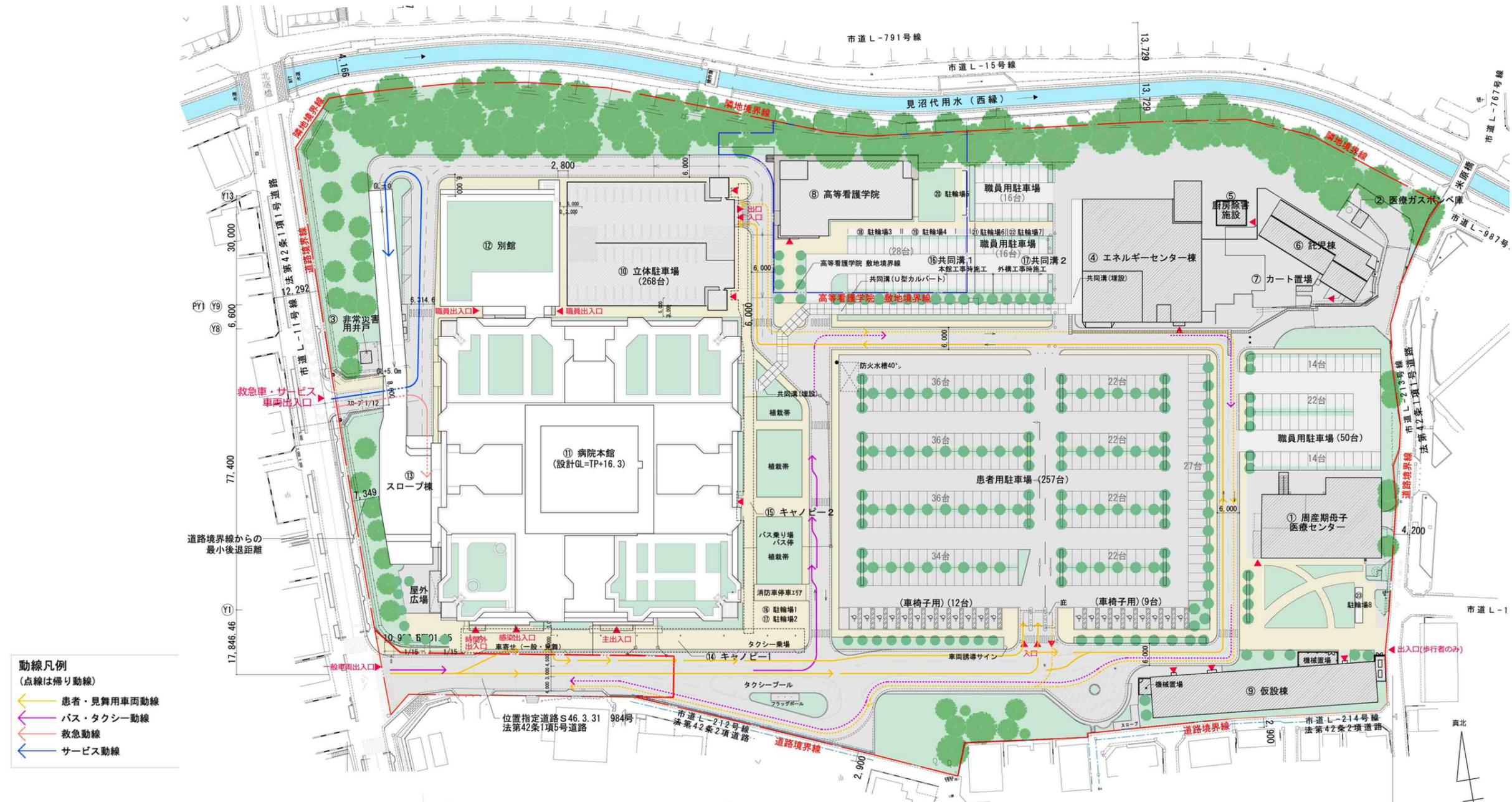


外部動線計画

- ・一般車両：立体・平面駐車場へのスムーズなルートを確認し、歩車分離を徹底します。
- ・バス・タクシー：病院エントランス近くに利便性の高い乗降スペースを計画するとともに車両の待機や転回に配慮します。
- ・救急車：救急車・サービス車両専用出入口から救急部門へ最短でアクセス出来る計画とします。
- ・サービス車両：救急車・サービス車両専用出入口から2階サービスヤードへのスムーズな動線を確認します。

駐車場計画

立体駐車場（268台）をはじめ、平面駐車場（360台）を確保し、病院用の駐車場として628台、高等看護学院用駐車場28台を合算して敷地全体で656台の駐車場を確保します。
また、立体駐車場および平面駐車場には長い引込路を設定し、駐車場への車両の混雑に配慮します。



医療機能・施設整備のコンセプト

(1) 市民に望まれる医療機能の充実

- ・救急医療の充実
- ・急性期医療機能の強化
- ・地域がん診療連携拠点病院としてのがん医療の強化
- ・周産期医療の強化
- ・感染症への対応強化

(2) 医師会等と連携した地域医療支援機能の充実・強化

- ・地域医療支援センターの設置（地域連携室の機能強化、支援及び相談の充実等）

(3) 災害拠点病院としての機能強化

- ・災害に強い建物構造（病院本館への免震構造の採用）

(4) 患者の視点からの療養環境の向上

- ・アメニティやプライバシーに配慮した施設整備（診察室、病室スペースの拡充、6床室の廃止と個室の増室等）

(5) 安定した医療の提供のための人員確保

- ・新しい医療機能の強化に伴う人員の増員及び配置

(6) 医療従事者に選ばれる職場環境の整備

- ・医師及び看護師等が働きやすい魅力的な施設環境の整備（病棟スタッフステーションの拡充・機能強化、医局の集約化等）

(7) 将来に渡る健全経営等を見据えた施設整備

- ・イニシャルコスト及びライフサイクルコストの低減に配慮

診療概要

■診療科目

【標榜】(25科)

内科・消化器内科・神経内科・循環器内科・小児科・新生児内科・外科・呼吸器外科・脳神経外科・心臓血管外科・小児外科・整形外科・泌尿器科・産婦人科・眼科・耳鼻いんこう科・皮膚科・精神科・放射線診断科・放射線治療科・麻酔科・救急科・**歯科口腔外科**※・**形成外科**※・**病理診断科**※

【院内表示】診療科目(28科)

内科・消化器内科・神経内科・循環器内科・小児科・新生児内科・外科・呼吸器外科・脳神経外科・心臓血管外科・小児外科・整形外科・泌尿器科・産婦人科・眼科・耳鼻いんこう科・皮膚科・放射線診断科・放射線治療科・麻酔科・集中治療科・救急科・総合心療科・感染症科・**歯科口腔外科**※・**形成外科**※・**病理診断科**※・周産期母子医療センター

※歯科口腔外科・形成外科・病理診断科は新規。必要に応じて今後も診療科目の新設を精査

■病床数：計 637 床 【現行 567 床】

一般病床：577 床 【現行 537 床】

下記の病床含む

ICU（CCU含む）：8床

HCU：20床

救急病床：20床（平成28年3月31日承認）

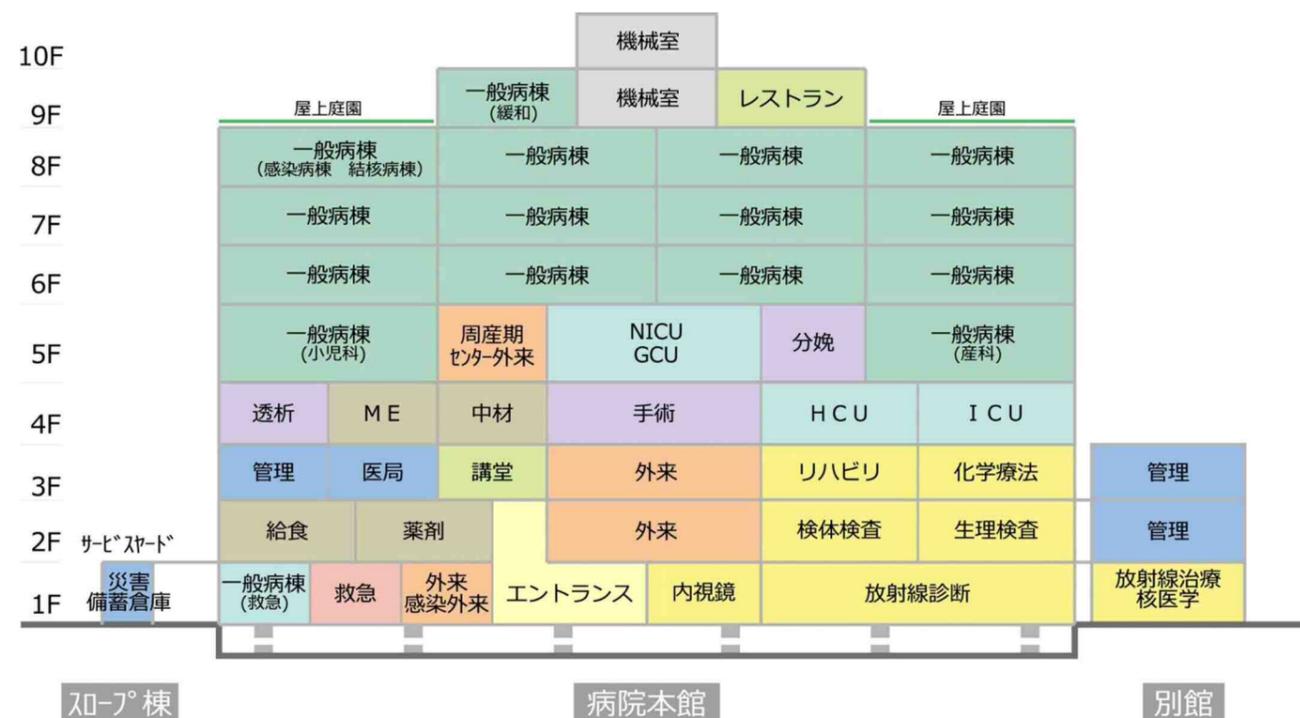
緩和ケア病床：20床（平成28年3月31日承認）

結核病床：20床 【現行 20床】

感染症病床：10床（感染病棟：8床、小児病棟内：2床） 【現行 10床】

精神病床（精神科身体合併症病床）：30床 【増床予定】

各階構成



1 階平面図

- ・救急外来・3次救急および救急病棟の集約配置
- ・救急・感染・小児外来の集約配置（感染エリアの独立化）
- ・投薬と救急外来の近接配置
- ・放射線部門（画像診断、放射線治療、核医学）の隣接配置
- ・画像診断と内視鏡の隣接配置
- ・医事、地域医療支援センターの集約配置



エントランスホールイメージ図



2 階平面図

- ・外来（内科系・外科系）と検査部門（検体検査、病理検査、生理検査）の隣接配置
- ・供給部門（薬剤、物品管理、栄養管理）の集約配置
- ・別館に管理機能（ロッカー、会議室ほか）を一体配置



3 階平面図

- ・外来（専門外来）とリハビリ、化学療法の配置
- ・管理部門と教育研修部門のエリア集約化
- ・地域開放・アメニティ機能（講堂、売店ほか）の集約配置



凡例

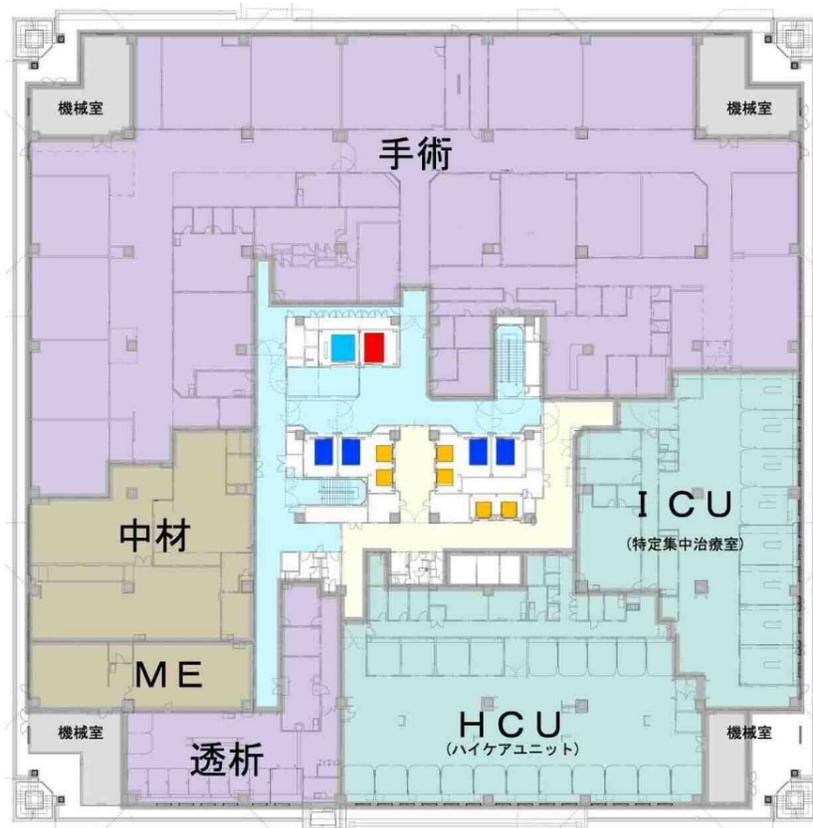
来院者用E.V	共用廊下
救急専用E.V	スタッフ用廊下
感染専用E.V	
スタッフ専用E.V	
給食専用E.V	

4 階平面図

- ・手術、ICU、HCUの隣接・近接配置による高度集中治療機能の連携強化
- ・手術と中材の隣接配置による迅速・確実な滅菌器材搬送
- ・透析とHCU、ICUの集約による透析設備の共用化
- ・臨床工学部門と透析部門、手術部門、ICU、HCUの同フロア配置による医療機器の管理効率化

凡例

- 来院者用EV
- 救急専用EV
- 感染専用EV
- スタッフ専用EV
- 給食専用EV
- 共用廊下
- スタッフ用廊下



5 階平面図

- ・地域周産期母子医療センター（産科病棟（分娩室）、NICU、GCU、外来等）と小児病棟の同フロア配置による機能連携強化
- ・地域周産期母子医療センターと手術の上下階配置（救急専用エレベータで接続）



6 階平面図

- ・関連する診療科の集約配置が容易な1フロア4看護単位の病棟
- ・A、B病棟、C、D病棟がそれぞれスタッフ専用エリアで接続される構成
- ・中央コア部に4看護の共用スペースを確保



スタッフステーションイメージ図

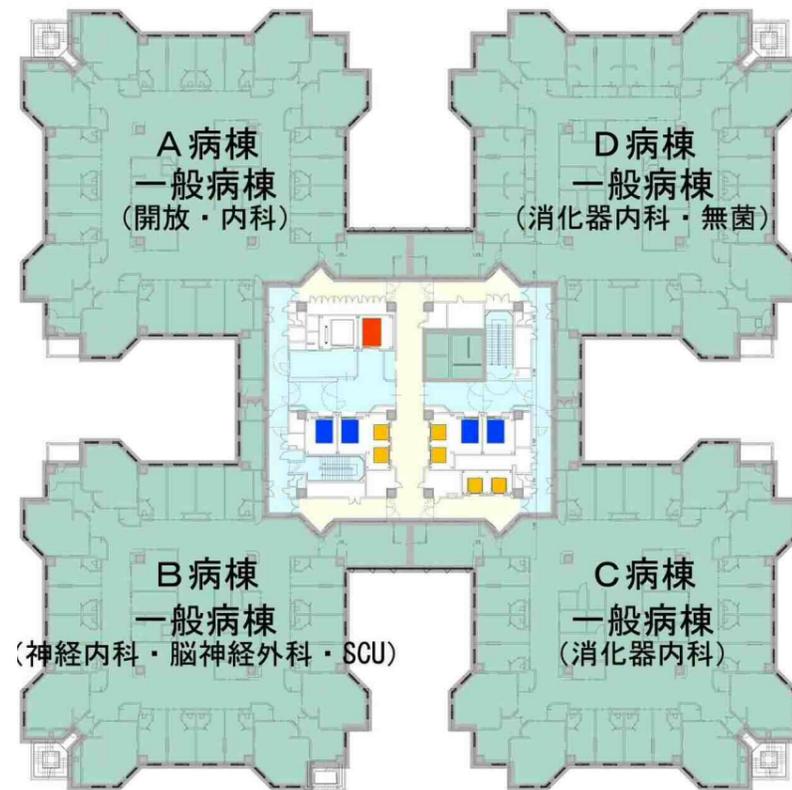


7 階平面図

- ・関連する診療科の集約配置が容易な1フロア4看護単位の病棟
- ・A、B病棟、C、D病棟がそれぞれスタッフ専用エリアで接続される構成
- ・中央コア部に4看護の共用スペースを確保



病室イメージ図



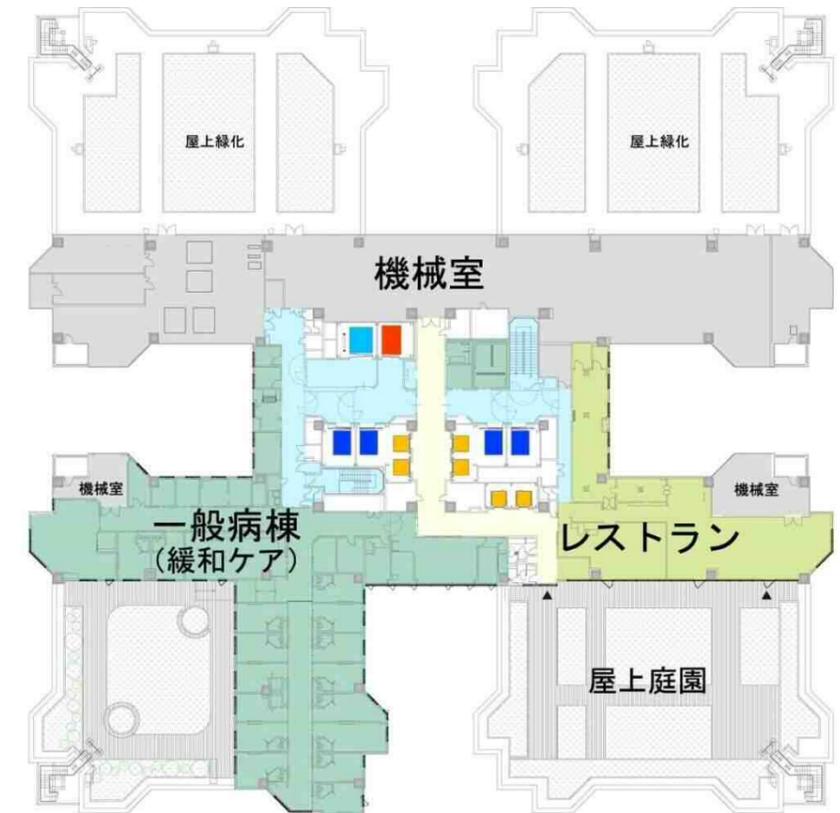
8 階平面図

- ・A病棟は将来の精神科身体合併症病棟への対応を想定するとともに救急専用エレベーターとの近接配置による精神科救急患者の迅速搬送に対応
- ・B病棟は結核・感染病棟を配置し、感染専用エレベーターによる下層階との直結
- ・A、B病棟、C、D病棟がそれぞれスタッフ専用エリアで接続される構成
- ・中央コア部に4看護の共用スペースを確保



9 階平面図

- ・緩和ケア病棟を配置するとともに専用の屋上庭園を設置
- ・レストランは一般及び職員利用を想定するとともに屋上庭園を併設
- ・その他、機械室（電気室・設備機械室）を配置



凡例

来院者用EV	共用廊下
救急専用EV	スタッフ用廊下
感染専用EV	
スタッフ専用EV	
給食専用EV	



建築スケジュール

	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	平成33年度
新病院建設	▼工事着工(H29.6) 新病院完成(H31.9)▼		▼新病院開院(H32.1)		
既存病院解体				解体(15か月)	
外構・改修工事					グランドオープン(H34.3)▼ 外構・改修(13.5か月)